

【朗読劇「月光の夏」アンケート結果】

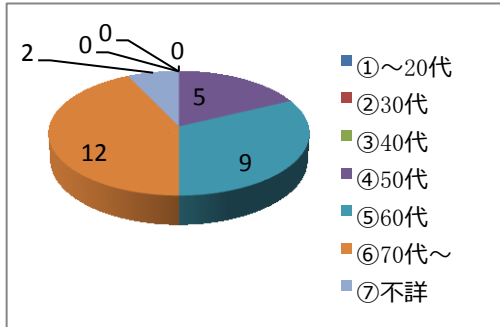
2013年9月7日

回答者数 28

peaceやまぶき

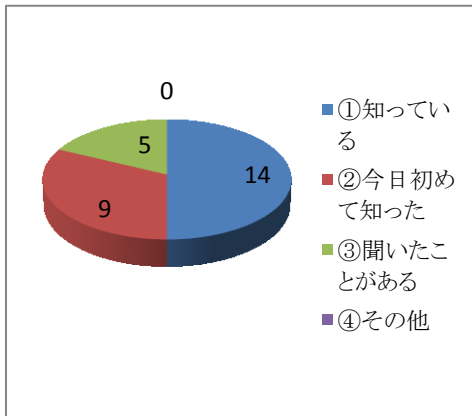
回答者年代別分布

①～20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑥70代～ ⑦不詳
0 0 0 5 9 12 2



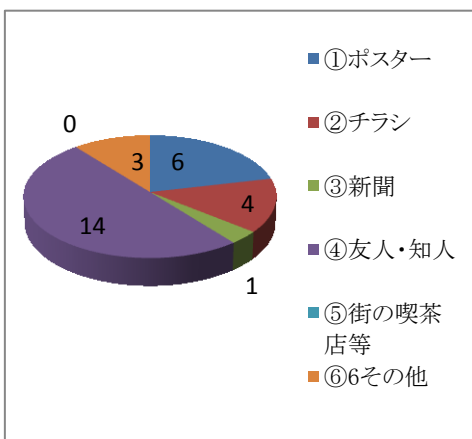
1. 「Peaceやまぶき」をご存じでしたか。

①知っている ②今日初めて知った ③聞いたことがある ④その他
14 9 5 0



2. 今日のイベントはどのように知りましたか。

①ポスター ②チラシ ③新聞 ④友人・知人 ⑤街の喫茶店等 ⑥その他 (九条の会・佐々木ピアノ)
6 4 1 14 0 3



3. 今日のご感想をお聞かせください。

50代

- ・ 若い人（子供）に聞かせたかった。
- ・ とても良かったです。ピアノも語りも遺書の朗読も。
- ・ 若者たちの朗読はとても心を打った。音楽と演劇の融合はすばらしく、こういう話があること、今日初めて知れて良かったです。
- ・ ピアノと朗読がどちらも胸に迫ってきて本当に良かったです。

60代

- ・ 映画を見ていたし、朗読劇ということで、どんな感じかなと期待し、とても良かった。
- ・ 良かった。素晴らしい。
- ・ とても魂に響きました。知らない世界を垣間見たようです。
- ・ 大変感動しました。ピアノも語りも素晴らしい。多くの人に紹介したい内容です。
- ・ 徐々に質の高い舞台を拝見して充実の午後でした。「子午線の祀り」以来、感動もの。「子午線の祀り」は群読ですね。ピアノの演奏が朗読とピッタリ息があって盛り上げておりました。
- ・ s19年生まれです。熱演ありがとう！戦争は凡人を鬼にもした。戦争は反対！
- ・ 戦争と平和の問題について改めて考えさせられ、とてもいい朗読劇でした。「月光」のピアノ演奏も素晴らしかったです。
- ・ 素晴らしかった。戦争の悲惨さを体現しているようだった。今（最近）平和が危うい。皆で真剣に考える時だと思う。
- ・ とても良かった。みんなに見せたかった。聞かせたかった。

70・80代

- ・ 万感限りなし。私事、兄二人特攻隊員でした。私が12歳の時。
- ・ 感動しました。
- ・ 感激 かんげき 最初の月光と最後の月光 スバラシイ
- ・ 良かった!!
- ・ 今日的な意義深い企画ですね。川越で月光の夏の試写会の時に、故引間博愛さんが挨拶で音楽による9条の映画ができましたといわれたのを思い出します。俳優さんたちの力量は素晴らしいです。市民公募の朗読も良かった。最後に市民公募の青年たちも舞台に出てくれればよかったかなあ？と思いました。
- ・ すばらしかったです。
- ・ 生命のかけがえのないこと、たいせつさを感じ取っています。主権在民の今、平和憲法を守っていかねばならない。国家は国民で構成されています。国民の命はないがしろにできません。
- ・ とても感動しました。
- ・ とてもすばらしかった。
- ・ 緊張感の高い素晴らしいドラマ。ピアノ最高！

- ・ 本日、朗読劇「月光」を観賞させていただきました。まず最初にこの企画をたてられ、ご提供いただいたことに対し、心から感謝の意を表します。ありがとうございました。小生は、1934年生まれで国民学校修了生です。今日の劇中劇でも出たように当然軍国少年でしたし、七つボタンの予科練に憧れていたものです。文学少年のはしくれでもありましたから「史記」「三国志」「水滸伝」などを読みとばしていたものですから、単純に支那の兵隊は弱虫だとは考えませんでした。が、時代の波に飲み込まれていたことは他の仲間と大同小異だったでしょう。我々が「反戦」を表現しようとするとう角理論的、理屈っぽくなるものだと思いますが、この作品は戦争の不条理を平凡な特攻兵と市民の人間関係を通してあますところなく表現されていると感動しました。ま文ながら劇団の皆様にもよろしくお伝えください。
- ・ 舞台と客席が一体となった張りつめた緊張感は演劇の持つ独特の醍醐味ですね。満足感いっぱいです。
- ・ ピアノも朗読の内容を良くくみ取って、秘めやかに、静かに……。最後に真っ赤な照明に包まれて理不尽なものに対する激しく燃える怒りの炎の様で素敵でした。

不詳

- ・ 戦争の悲劇が深く語られていました。引き込まれました。今までのどの「月光」よりも素晴らしかった。
- ・ 劇、ピアノともに素晴らしかったです。全体の構成がまた良かったです。オープニングに川越の若者たちがでてきたり。ピアニストが川越の若者で今、生きて演奏していたという幸せ。素晴らしい演奏でした。（この前のシューベルトも）ありがとうございました。

4. 神風特別攻撃隊の事は知っていましたか。また、どう思いますか。

50代

- ・ 知っていた。気の毒、かわいそうとしか思えない。
- ・ 絶対にだめ！
- ・ 知りませんでした。
- ・ 以前に映画でも見ましたし、知覧にも行って資料館を訪ねたこともあります。

60代

- ・ 映画、知覧飛行場、その他いろいろ
- ・ 知っていた。
- ・ 知っていましたが今日の朗読を観て考えを改めました。
- ・ 皇国のためにと若者を死に追いやった指導者たちに強い怒りを感じます。生き残った人への仕打ちの酷さ。軍国主義の恐ろしさ。二度と繰り返してはなりません。
- ・ 知っていました。
- ・ 戦後68年になって、やっと、今知る戦争の悲劇！改めて命を大切にするとはい…を考える。
- ・ 二度とこのような悲劇を繰り返してはいけないと思います。
- ・ 知っていました。（でも詳しいことは知りません。）特攻隊員の一人一人の思い、遺族の方々の思いを考えますと胸が痛くなります。この悲劇を二度と繰り返してはいけない。

- ・知っている。二度とあってはならない。

70・80代

- ・知っていました。
- ・知っていた。若い人たちの教育がとても大切。平和と命の大切さ。希望ある一生を途中で断たれ残念。息をするのも忘れるくらい佐々木さんのピアノに聞き入りました。
- ・知っている。悲しいこと。
- ・詳細熟知。歴史の一コマとして見ず、70年の今日、精神的リアリズムとして、今の日本人は今後、どう考えるかを再考するチャンス。
- ・この方たちのおかげで私は今平和な日本でいい音楽と演劇に接することが出来ました。感謝です。
- ・知っていました。戦争へと導いた国家権力をゆるすことはできない。
- ・知らなかった。こういう催しをあちこちで演じてください。
- ・戦争を知っている人間には本当に戦地で死んでいった人は気の毒です。
- ・悲しいこと。二度とあってはならない。
- ・知っていたが、今日まで深く考えたことがなかったように思います。とにかく戦争は、不条理の最たるものと理論的（理屈）に思いますが、それを動かしたのは「上官の命令は、天皇陛下の命令と思え」という戦陣訓でしょうか。大体人間「嘘」を一回つくるとじつま合わせに「嘘」の連鎖が始まると云いますが、不条理も連鎖が始まり結局は破滅にいたるのでしょう。
- ・知っていました。ゼロ戦の外に「回天」という潜水艦まがいの特攻もありましたね。どちらも10代の若者を死に向かわせました。戦争は人を狂わせます。国の政策として最低で、恥ずべきことと思いますが、今又、同じ道を歩かせようとしているのではないかと思わせられる時が多々あります。二度とこのような悲惨な事はさせないと一人ひとりが考えるべき時ではないでしょうか。

6. 「Peaceやまぶき」は、“平和と文化が共存してこそ暮らしを豊かにする”をモットーに活動しています。今後どんな企画を望みますか。具体的にお書きください。

- ・戦争を語り継ぐことが大切だと思います。
- ・やはり平和がテーマになるものがないと思います。
- ・9条を守る、過ちを繰り返さない、今の時代の危うさに敏感になって訴えるものを。
- ・若い世代に伝えるために今日の様な企画がよい。映画会、演劇でも今日のようにプラス何かするとよい。できれば朗読ボランティアを60代でも可にして欲しかった。
- ・本日のように語り残したいもの。
- ・平和の映画、ミュージカル、無言館旅行等。
- ・“Peaceやまぶき”さんのますますのご活躍を心からお祈りしております。
- ・ピアノ演奏が言葉ではなく、人々に愛と勇気を与えてくれています。音楽の持つ力を信じています。今回の様なプログラムは素晴らしい。